

事務事業名 非常備消防車両等更新事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：1332

施策：	07	防災・減災対策の推進	財務コード	--
基本事業：	05	消防体制の整備	担当部	総務部
基本事業の 成果指標	消防団員数		担当課	危機管理課（消防）
			担当係	危機管理担当（消防団）



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成21年度 ~		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
消防団員・消防車両			各種災害に対応できるよう老朽化が進んだ消防車両を更新する。 【更新車両】 平成25年度 3号車 平成26年度 6号車 平成27年度 8号車 令和 3年度 7号車						
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			災害活動における機動力の確保と性能向上が図られ、円滑な消防活動が行われる。						
4．成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	02年度 実績	03年度 実績	04年度 当初	05年度 要求	06年度 計画	07年度 計画	目標
非常備消防車の更新率 非常備消防車両更新台数 / 更新すべき消防車両		%							100
5．コスト									
事業費		計	千円	0	19,795				199,467
		国	千円	0	0				
		県	千円	0	0				
		地方債	千円	0	0				
		その他	千円	0	0				
		一般	千円	0	19,795				
正職員人工数		人工							
正職員人件費		千円							
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	0	19,795					199,467
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	<状況>令和2年度は筑紫分団7号車を更新する予定であったが、令和3年度に繰越しとなった。更新車両なし。 <原因>新型コロナウイルス感染症の影響により、工場の稼働減、部品の調達減等により希望する車両を期限内に更新する目処がたたないため。 <課題>繰越のため令和3年度に遅滞なく事務をすすめる。								
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	・補修等により更新期間を伸ばしているが老朽化は進んでいる。 ・耐用年数等、更新期間の基準を明確化する必要がある。 ・消防団員の確保。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
火災をはじめ大雨や台風等の警戒、行方不明者の捜索等、出動件数が増加している。				備考・特記事項 or 進行管理欄					